

★4月の休館日：1日(月)、8日(月)、9日(火)、15日(月)、22日(月)、30日(火)



プラネタリウム番組のご案内

4月の一般投影

北斗七星で星空入門

「これから星空の観察を始めたい」と思う方におすすめなのが、おおぐま座にある北斗七星です。北斗七星は、七つの星がひしゃくの形をつくる星の並びです。北斗七星を起点に、他の星々を見つけていくことができます。ひしゃくの水を汲むところの外側の2つの星を、水が出る方へ5倍伸ばすと北極星が見つかります。内側の2つの星を南へ伸ばすと、しし座の一等星レグルスが見つかります。また、ひしゃくの柄のカーブに沿って線を伸ばすと、うしかい座の1等星アーツルス、おとめ座の1等星スピカへつながります。この大きなカーブは、春の大曲線と言います（裏面の星図もご覧ください）。

北斗七星のもう一つのおすすめポイントは、北斗七星やその近くに、天体望遠鏡で楽しむことができる天体があることです。柄の端から2つ目にある星ミザールは、よく観察すると、すぐそばに4等星アルコルが見つかる二重星です。天体望遠鏡で観察をすると、さらにミザール自身も2つの星に分かれて見えます。二重星は天体観測の楽しみのひとつです。近くには、その他にも、宇宙へ広がるガスが、ふくろうの顔のように見える「ふくろう星雲」や、銀河に他の小さな銀河がくつついた「子持ち銀河」、花火のように華やかな「回転花火銀河」など、いろいろな天体を見つけることができます。

今月のプラネタリウムでは、北斗七星からスタートして、星空を楽しみたいと思います。



キッズ プラネタリウム

★幼児や小学校低学年を対象とした子ども向けプラネタリウムです。土日祝および春休み(～4/7)の11:10～14:30～

はるのほしざらめぐり

☆～4/14(日)☆

春の星空は見どころがいっぱい！みんなで星空をめぐってみましょう。



みなみのくにへほしざらツアー

☆4/20(土)～5/26(日)☆

明石を飛び出し、南半球で見られる星座を探しに行きましょう！



5月の一般投影 南十字星を訪ねて

南十字星が見やすい南半球の国々では、明石からは見ることができない南天の星座を楽しむことができます。南十字星を訪ねながら南半球の星空を紹介します。



～4/7(日)

太陽系のお天気展

太陽系には8個の惑星があり、その環境はそれぞれ異なります。それぞれの惑星のお天気を比べてみます。また、太陽の活動と関係の深い宇宙天気についても紹介します。

4/13(土)～6/2(日)

天文食三昧



食とは、ある天体が別の天体の動きによって隠される天文現象です。月が太陽を隠す日食や、月が地球の影に隠される月食など、様々な食があります。2024年は、アメリカ大陸などで皆既日食や金環日食が見られる他、ヨーロッパでは部分月食が見られます。日本でも土星が月に隠される土星食が見られます。いろいろな食を紹介します。

2024年4月の星空

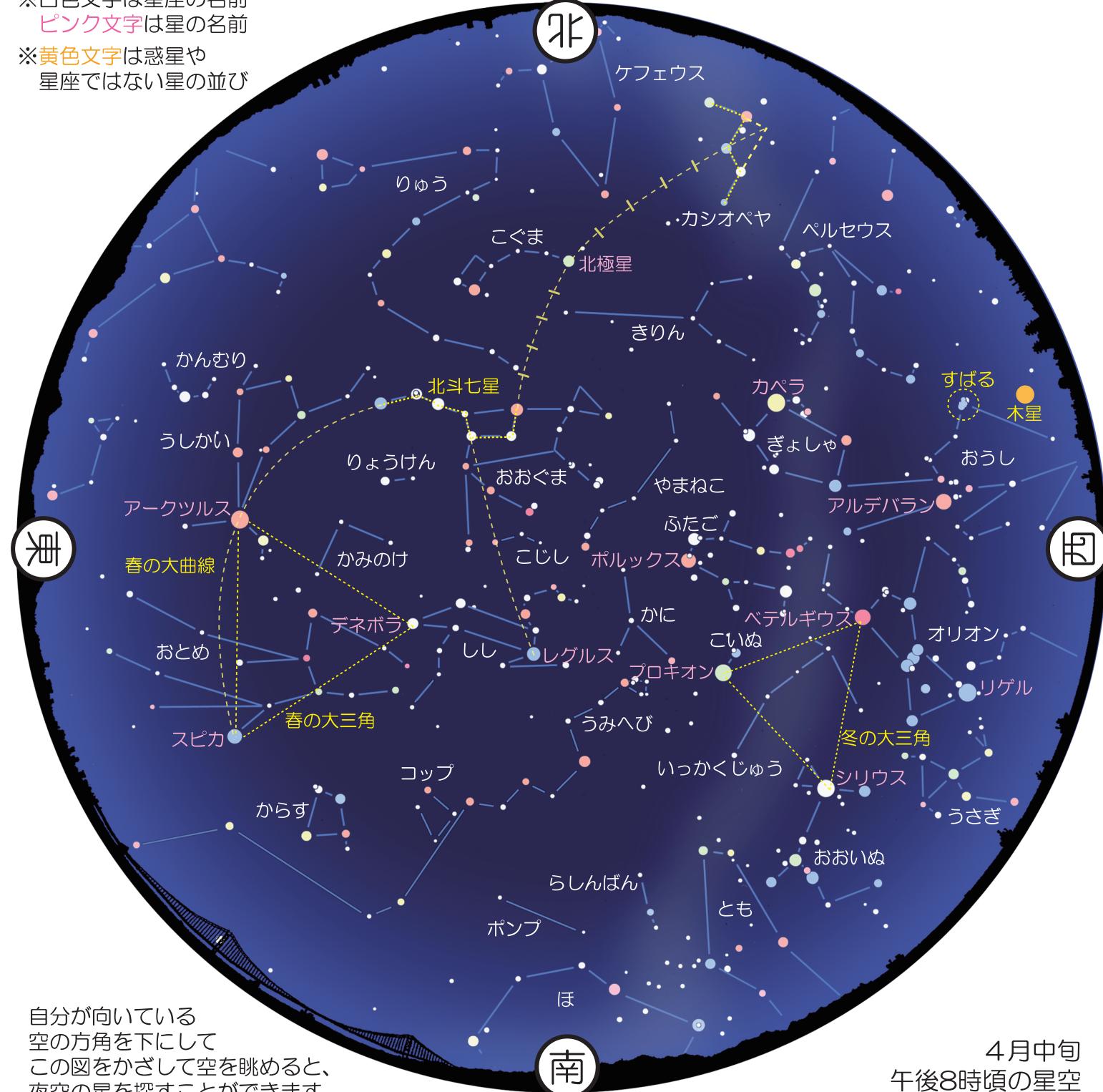
※白色文字は星座の名前

ピンク文字は星の名前

※黄色文字は惑星や

星座ではない星の並び

星座ではない星の並び



4月中旬

午後8時頃の星空

自分が向いている
空の方角を下にして
この図をかざして空を眺めると、
夜空の星を探すことができます。

東の空に、春の星たちを見つけやすくなっています。北斗七星から、アーツルス、スピカと2つの1等星をつなぐと春の大曲線です。また、アーツルスとスピカは、2等星デネボラと結ぶと春の大三角を形づくります。夜の早い時間帯には、西の空にオリオン座や冬の大三角など、冬の星たちも輝いています。

日没後、西の空に木星が輝いています。4月10日と11日には細い月と並びます。



4月の月の暦

- 2日 黄(下弦)
- 9日 青(朔(新月))
- 16日 黑(上弦)
- 24日 黄(望(満月))

4月の天文現象

- 4日 清明
- 9日 北米で皆既日食(日本では見られない)
- 10日 月と木星が並ぶ
- 19日 穀雨
- 22日 こと座流星群が極大

5月の天文現象

- 4日 月と土星が並ぶ(明け方)
- 5日 立夏
- 6日 月と水星が並ぶ(明け方)
- 6日 みずがめ座η(エータ)流星群が極大
- 10日 水星が西方最大離角
- 13日 天王星が合
- 19日 木星が合
- 20日 小満

4月の日の出・入(明石)

日の出	日の入
1日 5:47	18:21
15日 5:28	18:32
30日 5:11	18:44